



平成20年3月期 決算説明会

2008年5月20日

株式会社 ジェイテクト

1) 平成 2 0 年 3 月 期 の 業 績

1-1 財務データ



(億円)

	19年3月期	20年3月期	対前期比
売上高	10,252	11,575	112.9%
営業利益	646	776	120.1%
経常利益	669	728	108.9%
当期純利益	449	434	96.8%

1-2 財務データ

4

JTEKT

(億円)

	19年3月期	20年3月期	対前期比
棚卸資産	1,237	1,304	105.4%
有利子負債	1,938	1,885	97.3%
設備投資額	603	589	97.7%
減価償却費	440	510	115.9%

1-3 事業別売上高



(億円)

	19年3月期	20年3月期	対前期比
機械器具部品	8,256	9,546	115.6%
工作機械等	1,996	2,029	101.7%
合計	10,252	11,575	112.9%

1-4 地域別売上高

JTEKT

(億円)

	19年3月期	20年3月期	対前期比
日 本	5,951	6,344	106.6%
欧 州	1,887	2,319	122.9%
北 米	1,542	1,706	110.7%
アジア・オセアニア	725	1,045	144.1%
そ の 他	147	159	108.6%
合 計	10,252	11,575	112.9%

1-5 事業別営業利益



(億円)

	19年3月期	20年3月期	増減額
機械器具部品	436	595	159
工作機械等	211	181	30
消 去	2	0	1
合 計	646	776	130

1-6 地域別営業利益

JTEKT

(億円)

	19年3月期	20年3月期	増減額
日 本	487	491	3
欧 州	11	48	36
北 米	39	54	15
アジア・オセアニア	99	163	63
そ の 他	16	21	4
消 去	9	3	5
合 計	646	776	130

2) 平成21年3月期の事業計画

2-1 財務データ



(億円)

	20年3月期	21年3月期	対前期比
売上高	11,575	11,600	100.2%
営業利益	776	680	87.6%
経常利益	728	660	90.5%
当期純利益	434	380	87.5%
設備投資額	589	610	103.5%
減価償却費	510	550	107.7%

2-2 事業別売上高



(億円)

	20年3月期	21年3月期	対前期比
機械器具部品	9,546	9,495	99.5%
工作機械等	2,029	2,105	103.7%
合計	11,575	11,600	100.2%

2-3 地域別売上高



(億円)

	20年3月期	21年3月期	対前期比
日 本	6,344	6,410	101.0%
欧 州	2,319	2,275	98.1%
北 米	1,706	1,555	91.1%
アジア・オセアニア	1,045	1,220	116.7%
そ の 他	159	140	87.7%
合 計	11,575	11,600	100.2%

3) JTEKTの目指す方向と 取組みについて

3) JTEKTの目指す方向と取組みについて



< 経営環境 >

ドル安、米国経済の後退、原油高、鉄鋼等の原材料高
一方、新興国等は堅実な成長



< 体質強化を図る経営の実践 >

— 景気低迷による影響幅を最小限にし、将来の布石を打つ —

1. 魅力ある商品づくり
2. コスト競争力の強化

4) 企業体質の強化

- ステアリング、軸受、駆動の取り組み -

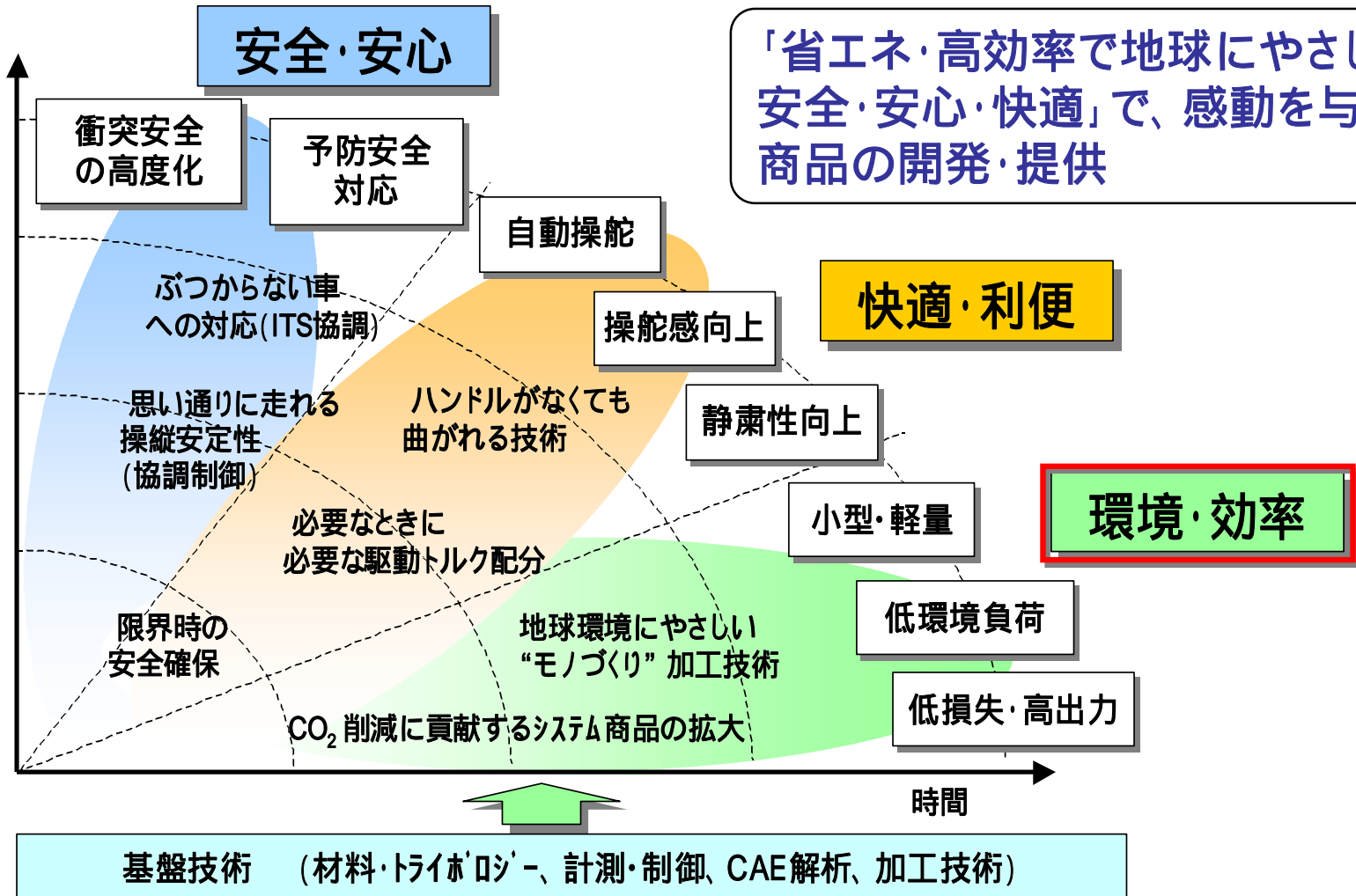
4) 企業体質の強化 - ステアリング、軸受、駆動の取り組み -



1. 魅力ある商品づくり

< 商品開発の方向性 >

「省エネ・高効率で地球にやさしく、安全・安心・快適」で、感動を与える商品の開発・提供



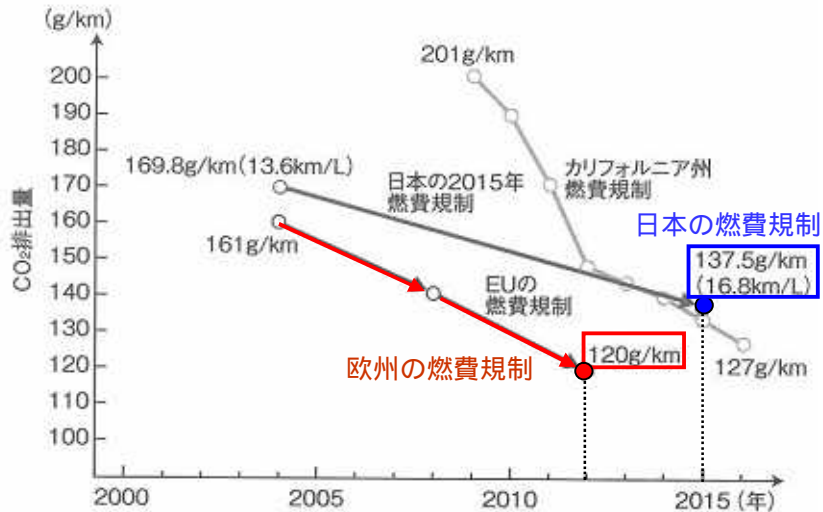
4) 企業体質の強化 - ステアリング、軸受、駆動の取り組み -



1. 魅力ある商品づくり(環境対応商品開発の強化)

自動車のCO₂、燃費規制

欧州規制 CO₂ 120g/Km(2012年) に向けての対応が不可欠



出典: Automotive Technology 2008.1

JTEKTの取組み、方向性

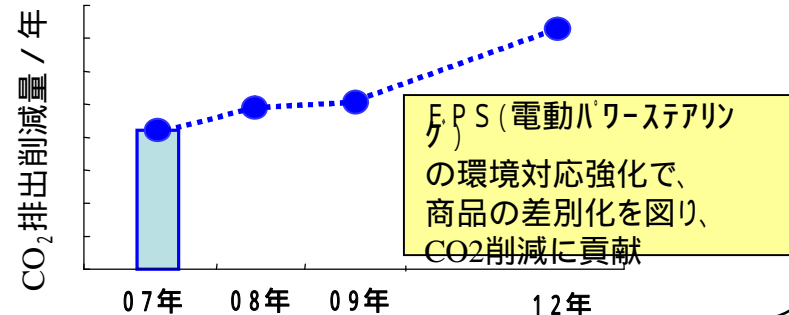
【環境・効率への取組み】

小型軽量化、高効率化を主眼とした商品開発を強力推進

< 要素技術開発 >

- 1) 小型軽量化技術
- 2) 高効率(省エネ)技術
- 3) 低損失技術
- 4) 長寿命化技術

地球環境にやさしい商品の開発



4) 企業体質の強化 - ステアリング、軸受、駆動の取り組み -



1. 魅力ある商品づくり(環境対応商品開発の強化)

【取組み事例】

EPS (電動パワーステアリング)

省エネ

軽量化



< C - EPS >

< RD - EPS >

4WDカップリング (ITCC)

軽量化

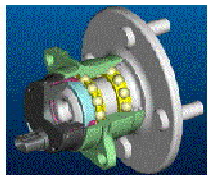
高効率



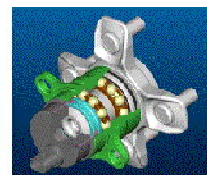
ハブユニット

軽量化

Original design



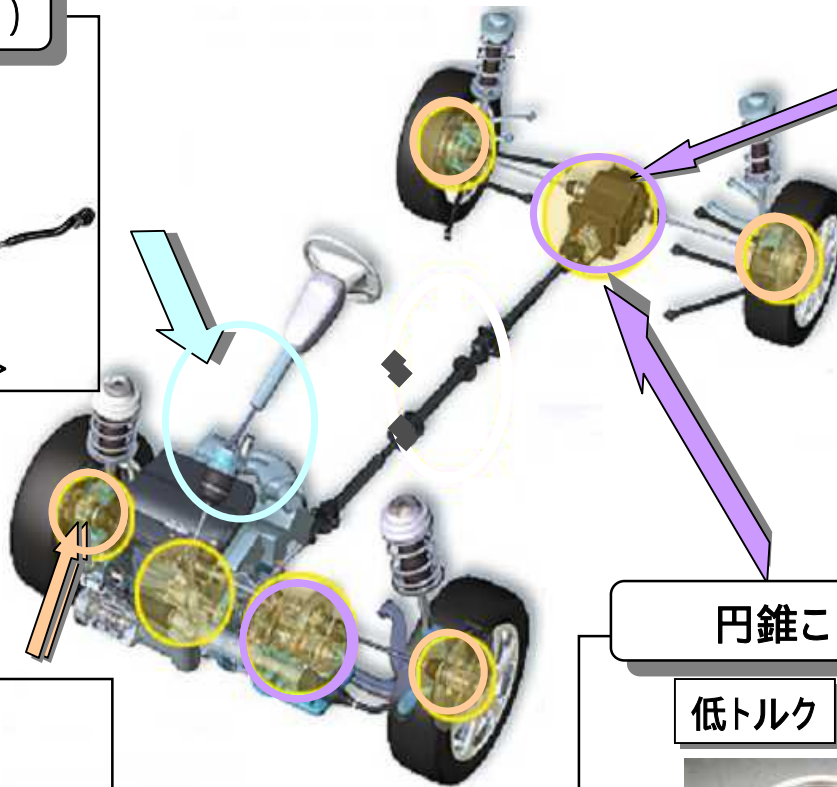
Optimized design



円錐ころ軸受

低トルク

小型化



4) 企業体質の強化 - ステアリング、軸受、駆動の取り組み -



1. 魅力ある商品づくり -

< 強い商品を更に強く >

EPS、HPS

EPS: 需要拡大の中、グローバルトップシェアをキープ

HPS: アジア・南米の伸びに対応

自動車用円錐ころ軸受

自動車市場の伸びに対応、更にシェアアップ

産業機械用 超大型軸受

鉄鋼需要の伸び、風力発電需要の伸びに対応

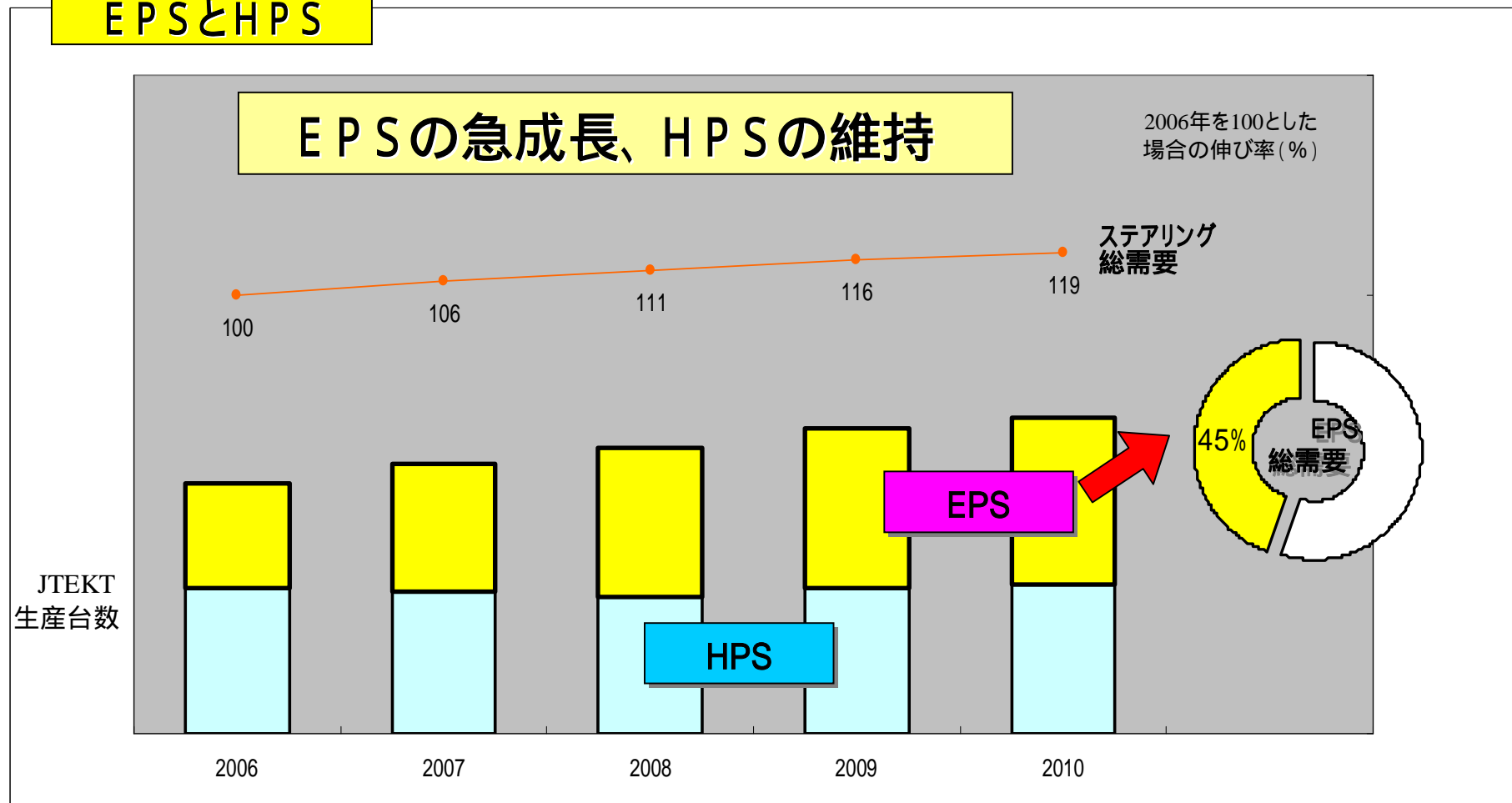
ITCC、トルセン

搭載率の向上を促進

4) 企業体質の強化 - ステアリング、軸受、駆動の取り組み -

1. 魅力ある商品づくり (強い商品を更に強く)

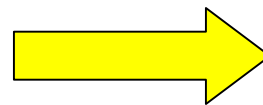
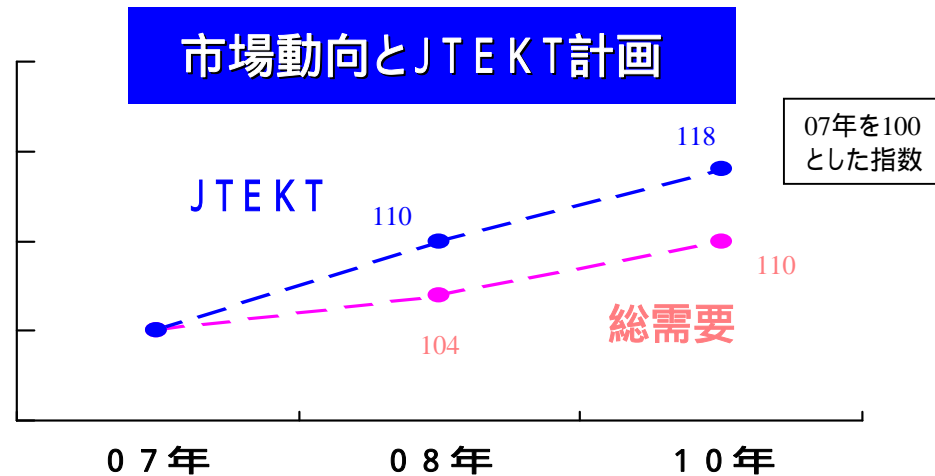
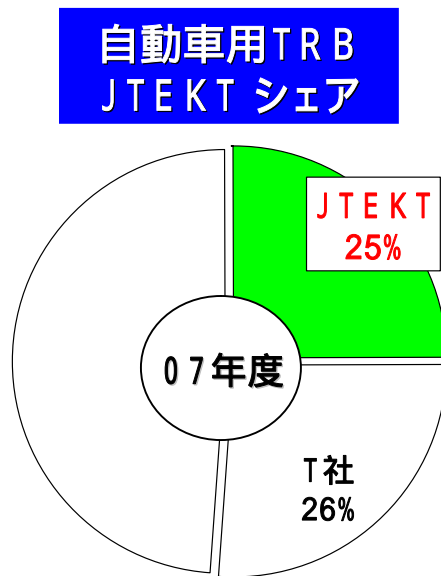
EPSとHPS



4) 企業体質の強化 - ステアリング、軸受、駆動の取り組み -

1. 魅力ある商品づくり (強い商品を更に強く)

自動車用 円錐ころ軸受 (TRB)



能増対応

【主な能増対応】

- 香川工場 : 07年 第3棟稼動
月産660万個レベルへ能増
- 北米 : 08年6月稼動
(ワシントン工場) 既存工場含め 月産160万個レベルへ能増

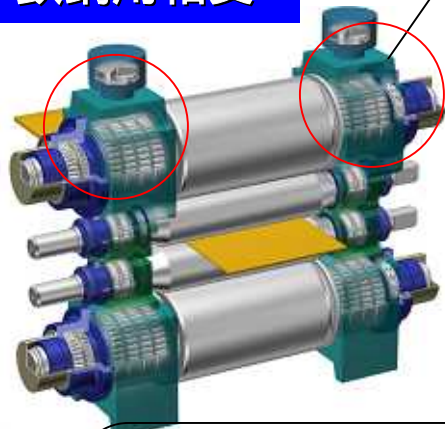
4) 企業体質の強化 - ステアリング、軸受、駆動の取り組み -



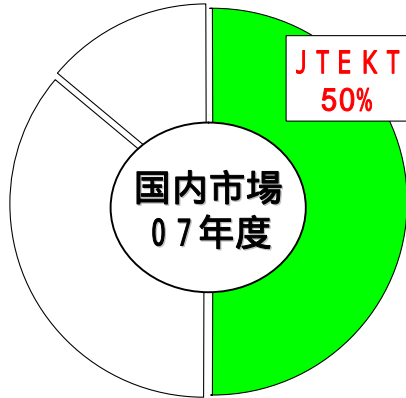
1. 魅力ある商品づくり (強い商品を更に強く)

産業機械用 超大型軸受

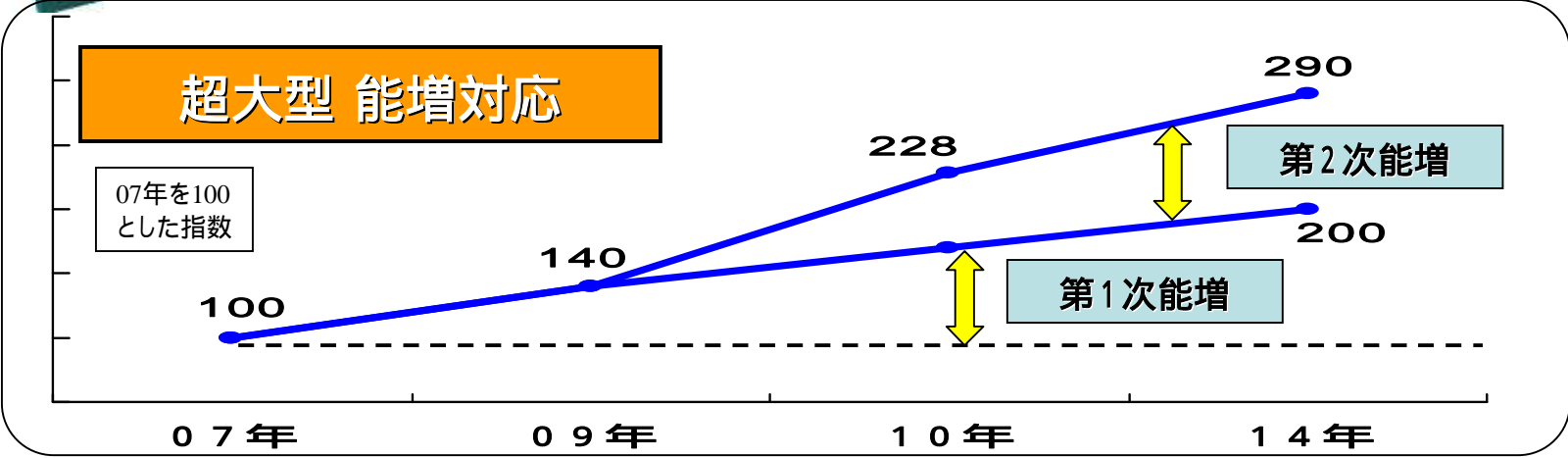
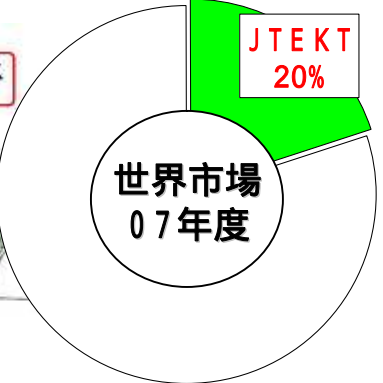
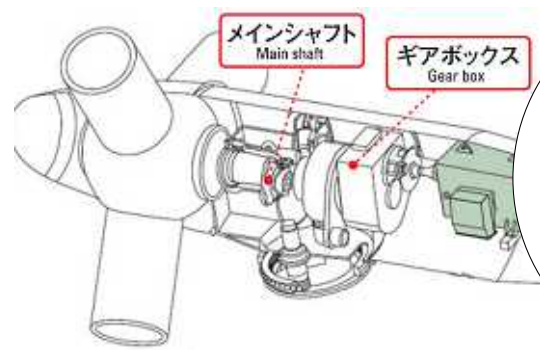
鉄鋼用軸受



圧延機用軸受



風力主軸用軸受



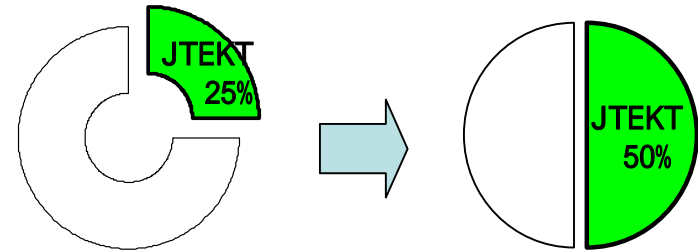
4) 企業体質の強化 - ステアリング、軸受、駆動の取り組み -



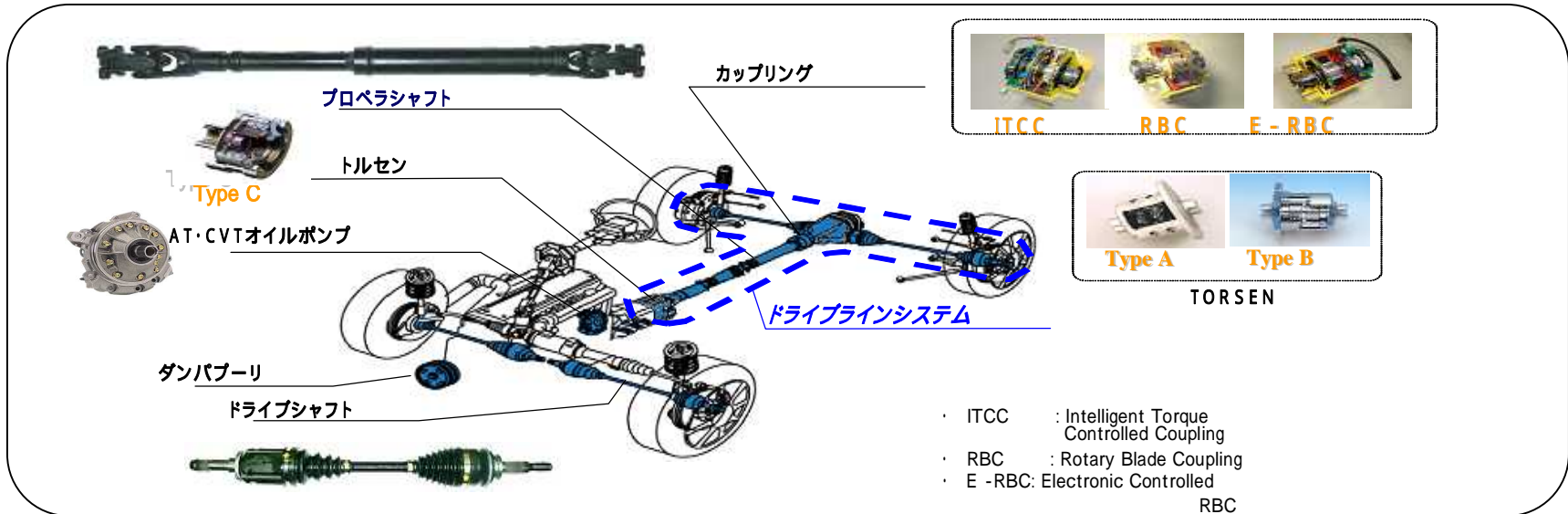
1. 魅力ある商品づくり (強い商品を更に強く)

ITCC・トルセン

現有商品の拡大と、更に魅力的な新商品の開発で、
「世界の4WDの2台に1台をJTEKT製に！」



ITCC・トルセンを核に ドライブライン・システム対応の強化



4) 企業体質の強化 - ステアリング、軸受、駆動の取り組み -



2. コスト競争力の強化

1) 源流段階(設計開発)からのコスト低減

- プラットフォーム化(設計標準化、部品共通化)

2) 低コスト化生産技術開発

- 工程改革(工程削減: 低歪熱処理、脱選択嵌合)
- 設備効率最大化(3SCF、高速化等)、設備の複合化

3SCF = Simple, Slim, Smart, Compact, Flexible

3) JPS (JTEKT Production System) による生産性向上

- 3本柱(可動率向上、直行率向上、やり終い)の定着
 - 整流化(水平搬送、直線化)、段替短縮等
 - 変化に強いモノづくり(寄せ止め、新規品垂直立上げ)

4) 企業体質の強化 - ステアリング、軸受、駆動の取り組み -



2. コスト競争力の強化

4) 現地化・現調化の推進

- 生産の現地化
- 前工程(鍛造、旋削、熱処理)、部品(アルミダイキャスト)の現地一貫生産

5) EPS基幹部品の競争力強化

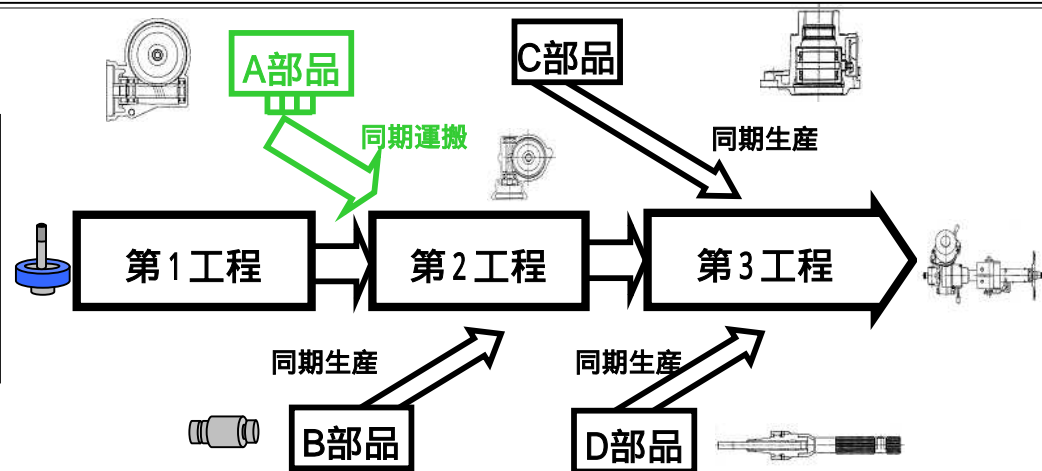
- 基幹部品(電装品、コラム、インタミ)のパートナーとの協業強化
- 電装品の内製開発の推進

4) 企業体質の強化 - ステアリング、軸受、駆動の取り組み -

2. コスト競争力の強化(生産技術開発、JPS)

開発ライン(EPS-FBプロジェクト)
魚の骨(フィッシュボーン)の如く整流化し、シンプルにものを流す

1. 選択嵌合の廃止
2. 整流化(分岐合流)
3. 単品精度向上
4. 3SCFライン



リードタイム : 6.7日 1.5H
スペース : 51%(従来ライン比)

4) 企業体質の強化 - ステアリング、軸受、駆動の取り組み -

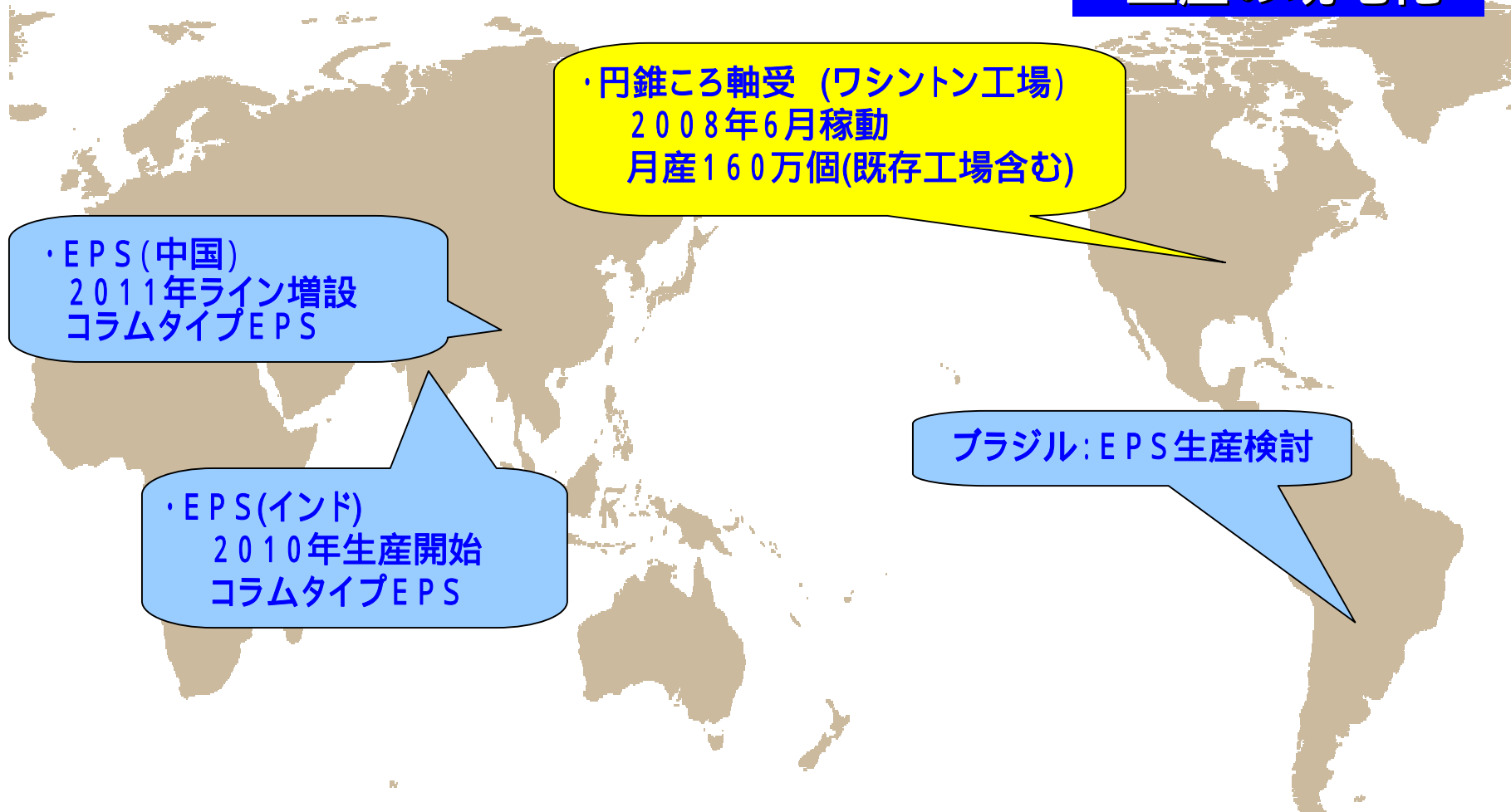


2. コスト競争力の強化(現地化・現調化の推進)

ステアリング

軸受

生産の現地化



4) 企業体質の強化 - ステアリング、軸受、駆動の取り組み -

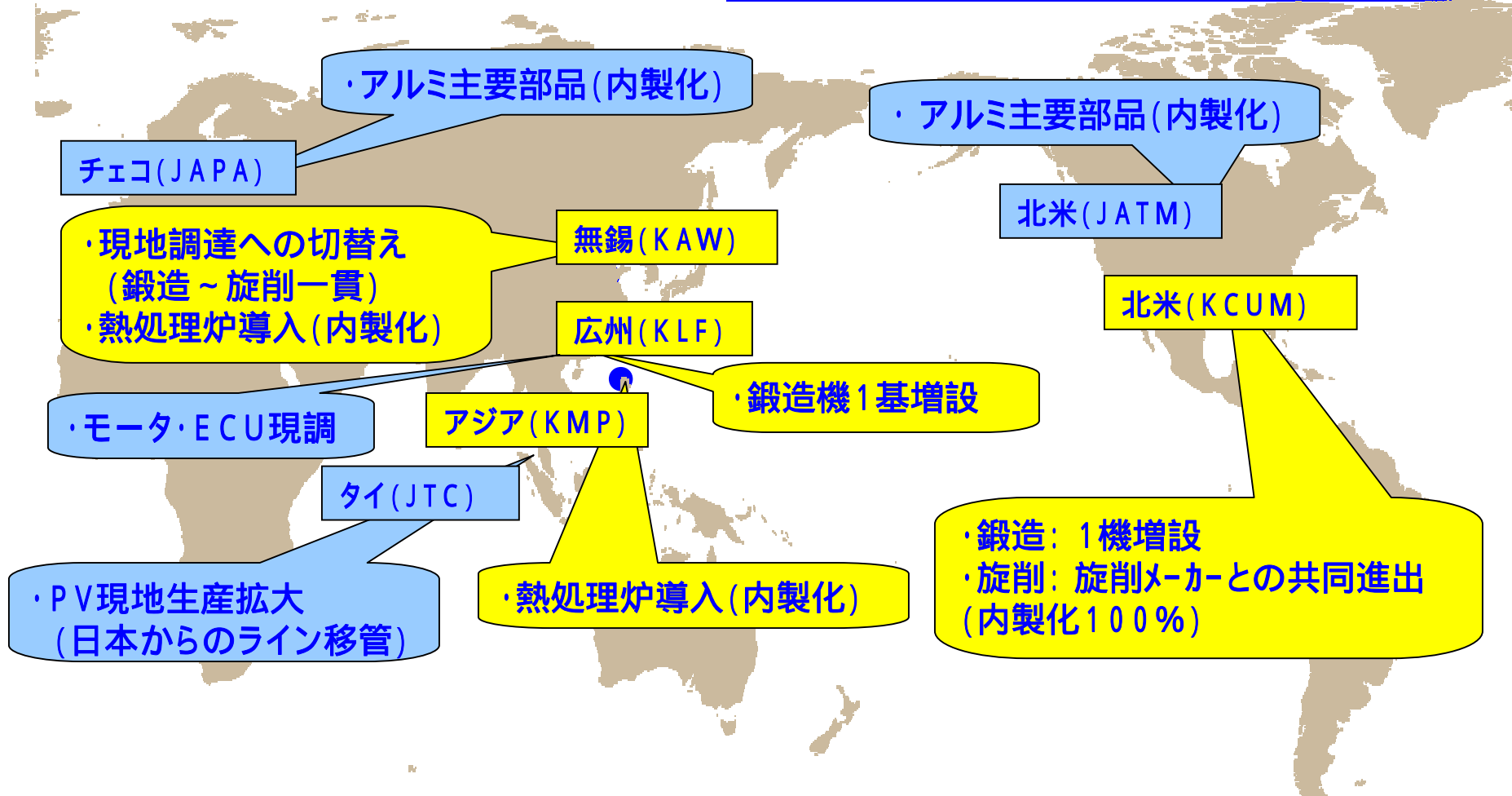


2. コスト競争力の強化(現地化・現調化の推進)

ステアリング

軸受

前工程、部品の現地一貫生産



4) 企業体質の強化



2. コスト競争力の強化

< 原材料高への対応 >

軽量化

鋼材使用量の削減

直行率の向上

不良品分析による真因追究の徹底

材料歩留まり向上

取り代削減、廃却削減

品種削減

プラットフォーム化

代替材採用

安価材への切換え

5) 企業体質の強化

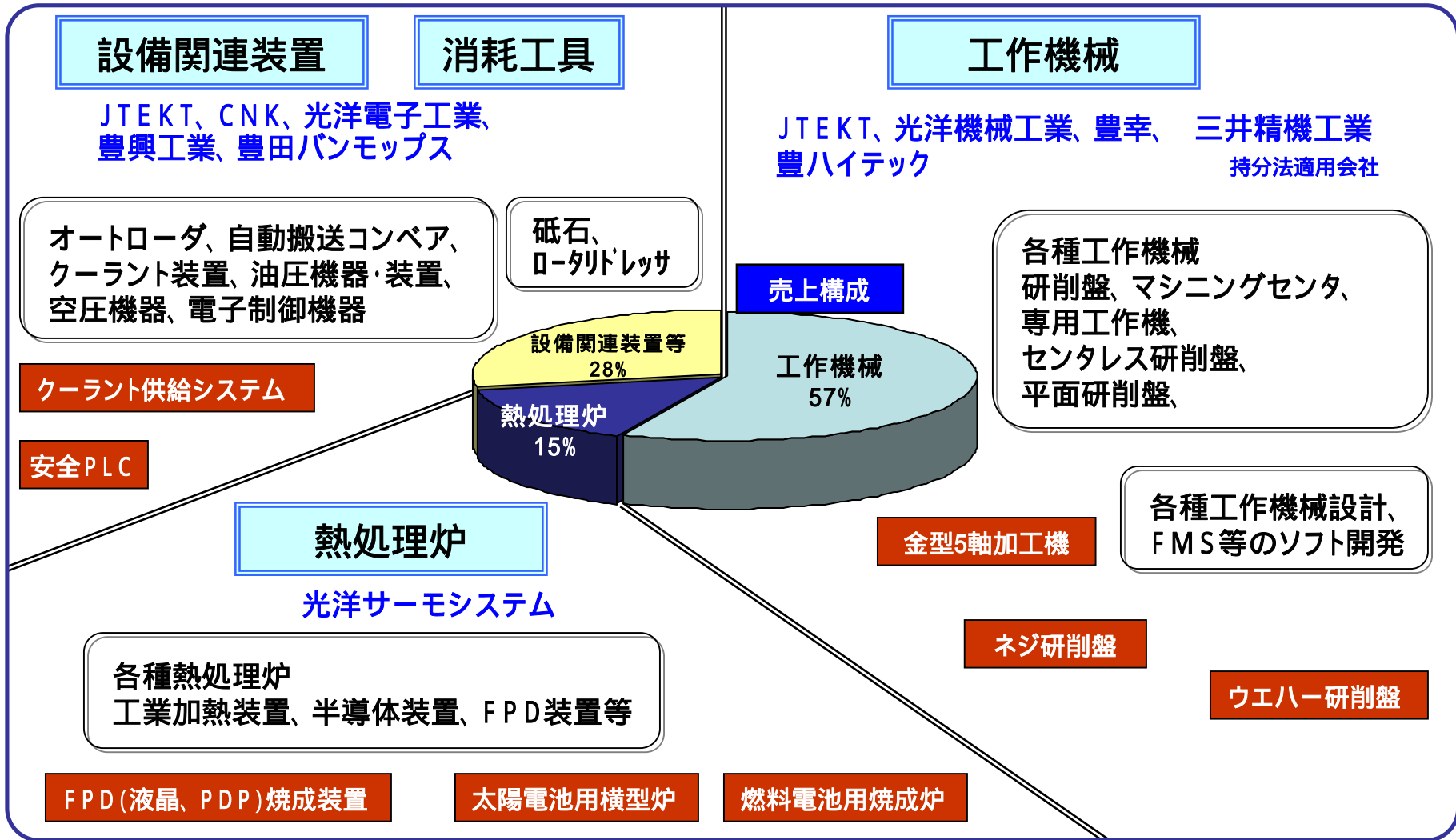
- 設備関連製品の取り組み -

5) 企業体質の強化 - 設備関連製品の取り組み -



JTEKTグループ 設備関連製品

連結海外現法名は省略



5) 企業体質の強化 - 設備関連製品の取り組み -



< 設備関連製品の課題 > 需要変動への対応

< 重点施策 >

1) 自動車分野以外の拡大

航空機、エネルギー関連、金型分野

2) 海外市場の拡大

生産、販売、サービス体制の充実

3) 設備関連製品のバリューチェーン構築

5) 企業体質の強化 - 設備関連製品の取り組み -

重点施策

1. 自動車分野以外の拡大

1) 工作機械

航空機・エネルギー関連・金型分野の拡大

大形・横形マシニングセンタ、立て形マシニングの市場投入
手のひらサイズのワークに最適なシンプル・スリム設備の充実



大形マシニングセンタ



手のひらサイズの工作物

2. 海外市場の拡大

自動車以外の分野の米州・欧州・アジアへの展開

新興国対応(中国、東欧、インド、東南アジア)

3. 設備関連製品のバリューチェーン構築

設備関連におけるグループシナジーの発揮

安全・環境対応商品の強化(安全PLC、太陽電池・燃料電池用炉、高熱効率炉、等)



PDPクリーンオーブン

5) 企業体質の強化 - 設備関連製品の取り組み -

JTEKT

グローバル対応

海外市場の拡大

欧州: 工作機械
テクニカルセンター開設(東欧)検討
販売拠点新規開設(ドイツ)検討

欧州:
工作機械(ドイツ、フランス)

アジア:
工作機械(タイ、中国、台湾)
熱処理炉(韓国、台湾)、
電子機器(中国)、
油圧機器(台湾)

インド: 工作機械
販売・サービス会社設立
(08年7月)

北米:
工作機械(米国)、
電子機器(米国)

メキシコ: 工作機械
販売支店設立

南米:
工作機械(ブラジル)

6) 更なる質の向上



**お客様に高い満足を提供する、
『質』を重視した経営の実践**

— 製品品質、業務品質の追求による

『成長基盤の確立』—



平成20年3月期 決算説明会

終